

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8232
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	児童育成
事務事業名	児童遊園維持管理費		事業コード	

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	~63 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法、児童遊園設置要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
市内の14箇所に「児童遊園」を設置し、児童の健全な遊び場として使用されている。 市が設置し、日常清掃など軽易な管理を自治会に委託している。	設置地区周辺の児童
	対象数 14地区周辺
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
<ul style="list-style-type: none"> ・施設優等修繕 1,195千円 ・管理業務委託費 @40,000円×14自治会 560千円 ・樹木剪定委託 777千円 ・遊具点検委託 246千円 ・害虫駆除委託 42千円 計 2,820千円 	(5) 個別計画の概要 計画名 相模原市児童育成計画 計画年次 平成13年度～平成17年度 2) 豊かな遊びと仲間づくり 3) 子どもの広場・児童遊園の充実

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a	b	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	2,225	2,638	2,820	2,825
	人員・時間数	(0.3人)	(0.3人)	(0.3人)	(0.3人)
	人件費	253	253	253	253
	その他経費	0	0	0	0
	合計	2,478	2,891	3,073	3,078
特定財源	0	0	0	0	0

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 B ▼	A : 適応している	理由： 他の類似施設と利用形態は同一であり、同じレベルでの再整備や維持管理が必要である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 日常管理を自治会に委託するなどの協力をいただいております。維持費も低コストである。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 地域に密着しており、市の実施が妥当である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 遊具の老朽化等、施設整備が不十分の箇所が見受けられ改善する必要がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 B ▼	A : 有効である	理由： 新規の設置は見込めず、公園などの類似施設と一体なった維持管理が必要である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 施設の維持管理の向上が必要である。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明：</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	<p>他の市町村では、児童遊園でありながらも公園担当課が一元管理を行ったり、使用形態が類似していることから、児童遊園の位置付けのオープンスペースが存在しない市町村があり、本市も管理の一元化や都市公園への移行を検討する必要がある。</p>
	<p>今後の進め方</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 完了</p>		
		説明	<p>公園等、他の類似施設と利用形態は同一であり、同じレベルでの維持管理や再整備が必要である。</p>

8 二次評価における変更点